

講座名	日程	受講者数
情報処理応用	5月22日～ 5月25日	7
図形処理	9月10日～ 9月13日	14
情報処理研修	7月23日～ 8月10日	14
高等学校教育工学	11月5日～ 11月7日	11
高等学校理科実験	9月17日～ 9月19日	20
高等学校理科実習助手実技	1月28日～ 1月30日	20
高等学校芸術科（音楽）実技	11月26日～ 11月28日	13
高等学校芸術科（美術・工芸）実技	10月15日～ 10月17日	8
高等学校家庭科実技	11月26日～ 11月28日	10
情報処理教育（COBOL I）	6月4日～ 6月7日	24
情報処理教育（COBOL II）	10月22日～ 10月25日	17
情報処理教育（FORTRAN I）	5月14日～ 5月17日	7
情報処理教育（FORTRAN II）	12月3日～ 12月6日	9
産業教育実技（工業）	11月5日～ 11月8日	15
家庭科担当教員研修（前期）	7月9日～ 7月11日	22
（後期）	8月20日～ 8月23日	21
学校カウンセラー（初級）	6月4日～ 6月6日	52
学校経営（A）（前期）	6月4日～ 6月7日	30
（中期）	9月3日～ 9月5日	30
（後期）	1月28日～ 1月30日	30
学校経営（B）（前期）	6月25日～ 6月28日	30
（中期）	10月1日～ 10月3日	30
（後期）	2月6日～ 2月8日	30
教育研究法（前期）	6月11日～ 6月14日	34
（中期）	9月10日～ 9月12日	34
（後期）	1月21日～ 1月23日	34

第3節 教育研究

1 個を生かす学年・学級経営に関する研究

学校経営部（第1年次）

本研究は、「均質化や画一化」の教育から「個の重視」の

教育への転換が問われている今日的課題を踏まえ、児童生徒一人一人が主体的に自己実現を目指すことのできる学年・学級経営の在り方を追究するものである。

本年度は、県下各校教師の「個の重視」についての意識等の現状把握をし、「個」が生きるための学年・学級経営の問題点と改善の方向について、次の4つの研究視点からまとめた。

- ① 個の存在を認め、個の存在を大切にすることの内容・方法を明確にするという視点。
- ② 個の特性をとらえ、生かす内容・方法を明確にするという視点。
- ③ 認知面に偏ることなく、情意的側面との調和を考えた実践活動の在り方を探るという視点。
- ④ 個性豊かな生き方のための基礎・基本の習得を重視することの内容・方法を探るという視点。

次年度は、本年度の研究でまとめた問題点等を、更に深め、そのための改善・充実策について次の2点から明らかにしていく。

- 研究協力校の実践を通して、「個を生かす学年・学級経営」の改善・充実策をまとめる。
- 個性豊かな生き方のための基礎・基本を明らかにし、その援助・指導の在り方をまとめる。

2 基礎・基本の定着と個性の伸長に関する研究

学習指導部（第4年次）

本研究は、学習指導の改善の視点から、個性重視の原則に立ち、基礎的・基本的な内容を身につけさせる過程を通して、更にそれを基盤としながら、一人一人の個性を生かし、伸ばす学習指導の在り方を実践的に追究するものである。

本年度は、第3年次までの研究成果を基に、小学校算数科、小学校道徳を対象に研究協力校において、単元を通して実践研究を進めた。実践に当たっては、研究主題を追究するために、実践への具体化の方向として考えた「『よさ』や『その子らしさ』を育てる学習指導の基本型」に沿って、一人一人の「よさ」や「その子らしさ」の把握から、生かし、伸ばすまでの段階を、単元の指導計画に意図的に位置づけて、基礎的・基本的な内容を定着させ、「よさ」や「その子らしさ」を伸長させる学習指導を展開した。

つまり、一人一人の「よさ」や「その子らしさ」に着目しながら多様な学習活動を展開し、機会をとらえて自他の「よさ」や「その子らしさ」を見つけ、認め合う活動を繰り返したことが、量的・質的な個人差に応じる有効な手だてとなった。その結果、児童は、「自分が生かされている」ことの実感、喜びから、進んで学習に取り組むようになり、それが学力量向上にもつながった。

次年度は、本年度の実践で講じた指導の手だての有効性の見直しの上で、研究のまとめを行う。